



秋 scenery

—小さな村で感じる「大きな文化」—

東秩父村では11月上旬に各地ならではのまつり、イベントがあり、さまざまな秋の風物詩がうかがえます。各地とも地元の皆さんをはじめ観光客や写真愛好家の皆さんなど、多くの人でにぎわいました！その様子を写真でお伝えします。

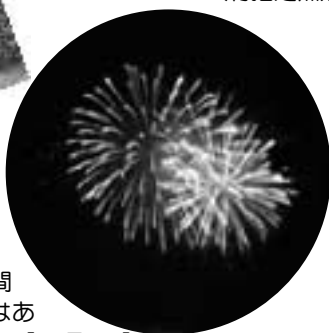


▲坂本地区では、八幡大神社に神代里神楽が奉納されました。毎年恒例「お餅ちようだい！」という子どもたちの声は神社を離れた歩道からでも聞こえてきました。投げげるそぶりでおどけてみせるひよっこさんはどこが可愛らしさもうかがえました。
（村指定無形民俗文化財）【11月3日】



▲御堂地区（萩平）では、八幡山神社に獅子舞が奉納されました。今年は新人の舞も披露され、次世代へと伝承される踊りを多くの人が見守りました。

（村指定無形民俗文化財）【11月3日】



▼コミュニティセンター周辺では、浄蓮寺の「お会式」と合わせ、「第14回ふるさと商工祭」が開催されました。商工会の皆さんによる東日本復興の物産展も並び、にぎわいを見せていました。夜には恒例の花火が目にも心にも花開きました。【11月2日】

▼大内沢地区では、浅間神社に獅子舞が奉納されました。上の貝戸の山間に、確かに感じさせる文化がそこにはありました。（村指定無形民俗文化財）【11月6日】



▲皆谷地区では、朝日根八幡神社に獅子舞が奉納されました。白刀（しらば）という、獅子舞が刀をくわえて行う独特の舞に、見る人の多くの注目を集めました。
（村指定無形民俗文化財）【11月3日】



今年の風景を振り返る、
また、今年見逃してしまい来年こそは！と思うすべての方に東秩父村の秋模様をお伝えしました。